

沖縄の実像を伝える発信力

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



松元剛先生講義 「基地問題の深層」と 命の重さの二重基準



★とても良い講義をありがとうございます。身近な問題なので、すぐ勉強になりました。本当に沖縄の人達は世界の基地の基準を知らないのでは、もっと発信していくべきだと思います。私も発信していきたいと思えます。

(新垣佑生)

★地域を知り、愛し、誇れる理念を再度大事な事だと思えました。沖縄の歴史、現状を少しずつ学んで、周りに教えられよう、自分の意見を伝えられるようになりたいです。

(城間賢五)

★沖縄に住んでいながら、基地について何も知らなかった。と反省しています。ただでなく、沖縄の歴史

史と現在を県外の方にも語れる様、勉強したいと思えます。

(翁長久仁子)

★私たちの生活を取り巻く基地問題。今も理不尽な政府の圧力。沖縄に住む私たちが歴史を知り、学ぶ事、声を上げ続けること、それら不断の努力が求められているのではないかと思われます。いや、強く感じました。

(伊波秀輝)

★戦後70年経っても繰り返される米軍の事件・事故。沖縄に置かれた異常な現状を県外の人にしたかり伝えることが、今後を担う私たちの重要な役割だと強く感じました。

(与那覇仁美)

★沖縄県民の人権を守れない、守らない日本政府。本当にわじわじしします。知らなかった現状を知る事が出来て良かった。命の重さの二重基準があり、沖縄県民の命が軽んじられていることを知り、驚きましたし、怒りを感じました。話の衝撃が大きすぎて、私の中で消化するには時間が必要。これを機会にもっともつと教えていきたい。正しい知識をもつて自分の意見をもちたい。

(仲松康)

★沖縄の人は、世界の米軍の基準をきちんと知るべきだと思いました。そ



して、それを発信していかないといけないと思えました。

(中根諒)

★「命の二重基準」という言葉がとても重く感じられました。真の平等に向けて、私も小さな力になつていきたいです。

(本山陽一朗)

★日本は主権を米へ譲っているが、これが改善される事はあるのか？基地との共存？できる可能性は？

(前原一貴)

★自分の勉強不足を痛感しました。沖国大の事故があった時のテレビのニュースを見ながら怒りが湧いてきたのを思い出しました。基地は、私が生まれた時からあるものだから

●住んでい
●沖繩市古謝は、
●買物には欠か
●最近の高層マ
●くさんあります。
●最も最近の高
●市生活がしやす
●室川で訪問看護
●市室川で訪問看護
●市室川で訪問看護
●市室川で訪問看護

塾生紹介



照屋一樹

●性格的には朝6時には起きる
●計画を立てる
●計画を立てる
●計画を立てる

●性格的には朝6時には起きる
●計画を立てる
●計画を立てる
●計画を立てる



★ナイチャーとして基地
★問題に対してはもう講義を
★聴いて、今日の行動の解決
★トがあつたと思つてます。

★宮島夏実
★(石垣麻太郎)

●感想を伝えた
●感想を伝えた
●感想を伝えた

●感想を伝えた
●感想を伝えた
●感想を伝えた

★私の住む恩納村、恩納
★区にある恩納岳では、キャ
★ンプハンセンの銃弾訓練
★が行われていました。



いつも楽しい島マス記念塾！ 佐生への出産記念品のオムツケーキの贈呈がありました！(^o^)